

特許出願技術動向調査について

令和4年4月

特許庁総務部企画調査課



1. 特許出願から読み取れるもの

➤特許出願は、いつ、どのような技術が、どの国籍の誰によって、どの国へ出願されたか、を示す知識の宝庫（ビッグデータ※）。

公開特許公報	
① いつ	<ul style="list-style-type: none"> 出願日 優先日
② どのような技術	<ul style="list-style-type: none"> 特許分類 要約、特許請求の範囲、明細書、図面等
③ どの国籍の誰	<ul style="list-style-type: none"> 出願人 発明者 住所
④ どの国へ	<ul style="list-style-type: none"> 発行国

(18)日本国特許庁(JP) (12)公開特許公報(A) (11)特許出願公開番号
特開●●●●●-●●●●●●●●●●
(43)公開日 平成12年5月20日(2000.5.20)

(51)Int. Cl.⁷ 識別記号 FI テーマコード(参考)
G01B 3/00 101 A 2C032
G02C 26/00 23/02 2F029
23/02
A45C 12/00 101 A
A47B 23/02

審査請求 未請求 請求項の数1 ○L 外国語出願 公開請求 (全6頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平●●●-●●●●●●●●●● (71)出願人 390000011
パテント コーポレーション
Patent Cooperation
アメリカ合衆国ケンタッキー州ビル
ビー・オー・ボックス 35090 ルイビルガ
レリアブライウン タワー 1500 (無番地)

(22)出願日 ① 平成11年11月10日(1999.11.10) (71)出願人 090000423
日本特許発明株式会社
東京都千代田区内幸町4丁目5番6号

(31)優先権主張番号 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● (72)発明者 発明 太郎
神奈川県横浜須賀町1丁目2200番地

(32)優先日 平成10年11月12日(1998.11.12) (74)代理人 123456789
弁理士 代理 太郎 (外2名)
最終頁に続く

(33)優先権主張国 フランス (FR)

特許法第30条第1項適用申請有り 平成10年9月21日付
画像工学会研究専門委員会主催の1992年度画像符号化シ
ンポジウム(PS C J 92)において文書をもって発表

特許法第65条の2第2項第4号の規定により明細書及び
図面の一部は不掲載とする。





(54)【発明の名称】ファクシミリ走査装置

(57)【要約】 (修正有)
【目的】ファクシミリ端末パラメータ識別方法に関し、
ファクシミリ装置機能のパラメータ拡張を容易にする。
【構成】通信時の端末パラメータを識別する方法におい
て、端末パラメータを含む制御信号の送信端末1a、1
1bは制御信号のファクシミリ情報フィールドを、複数の
サブフィールドに分離し、各サブフィールドの情報を分
離するファクシミリ情報フィールドのデータ中には現れ
ない特定の識別コードを挿入してファクシミリ情報フィ
ールドを作成する。制御信号の受信端末7はファクシミ
リ情報フィールド内の上記特定の識別コードを検出し、
ファクシミリ情報フィールドを複数のサブフィールドに
分離して、各サブフィールドの情報の内容を解析し相手
端末の端末パラメータの内容を検出する。装置機能のパ
ラメータを拡張する場合はユニークコードを挿入して可
変長の端末パラメータを分離する。

1a ■ 6 ■
1b ■ a ■ 6b ■
1c ■ 7 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■

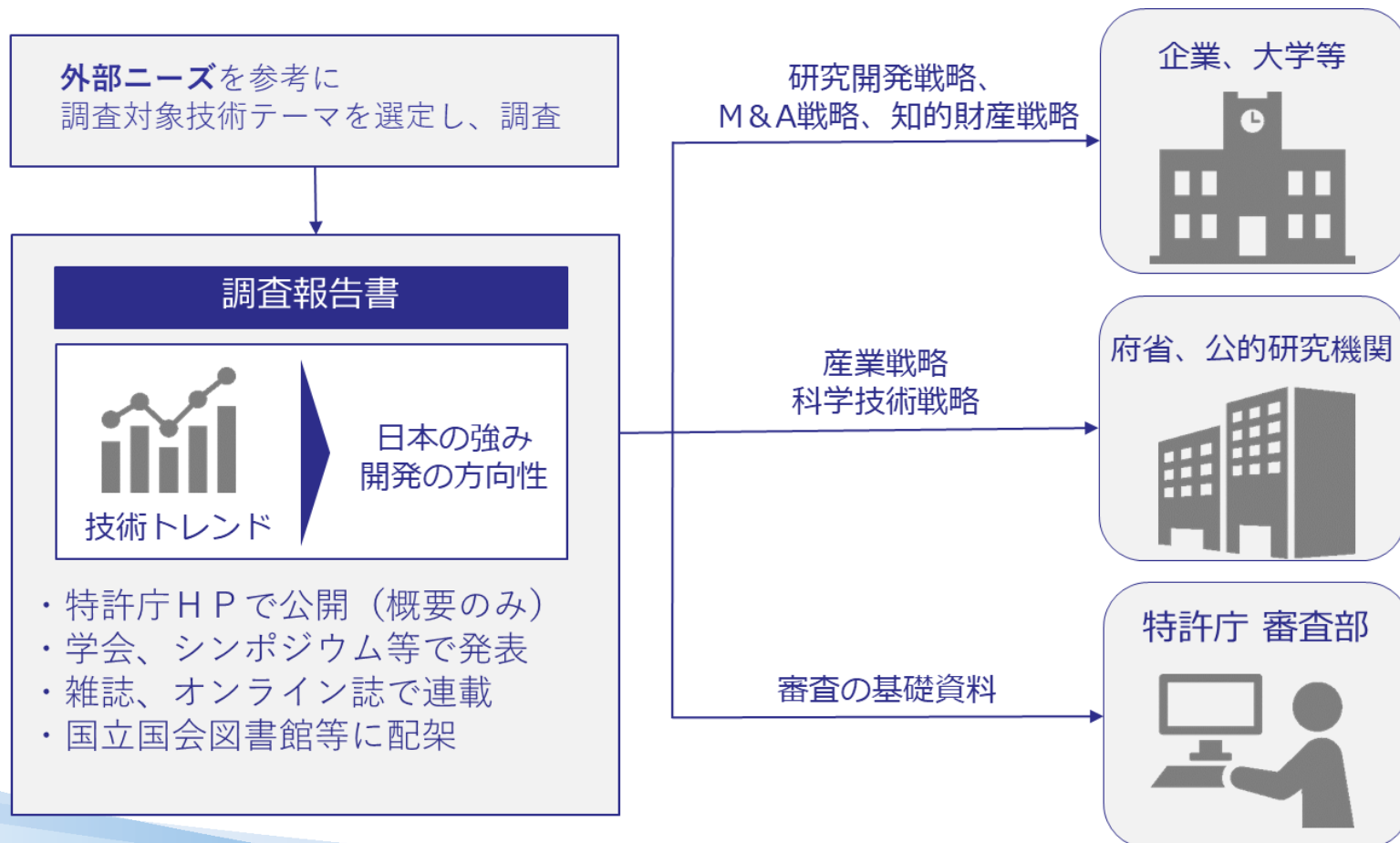
※2019年の世界の出願件数

322万件

-  31万件
-  62万件
-  18万件
-  140万件
-  22万件

2. 特許出願技術動向調査とは

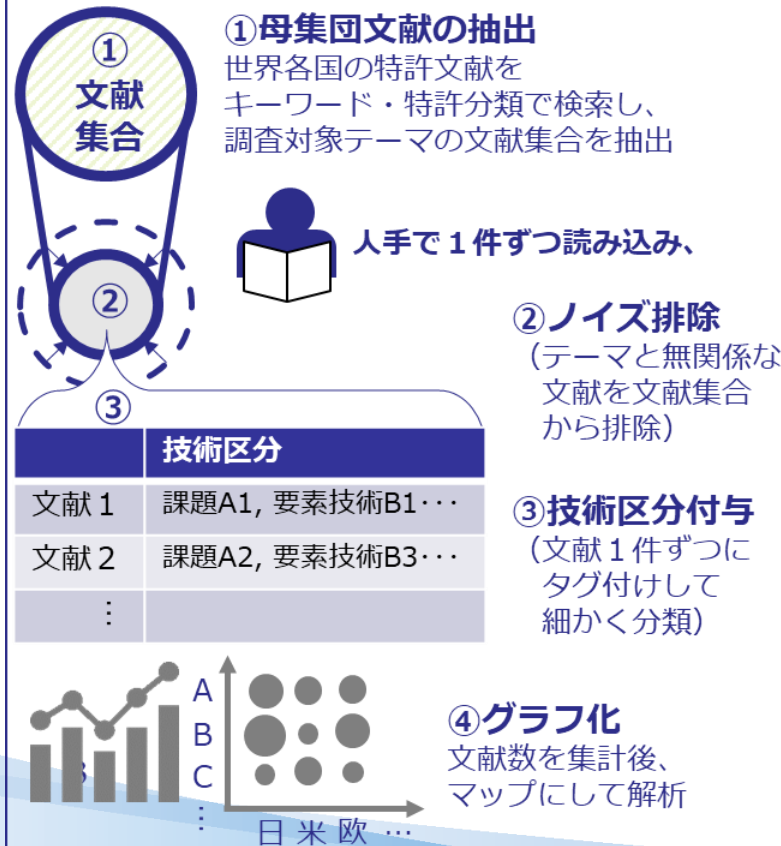
- 「特許出願技術動向調査」は、注目度の高い技術テーマを対象に、その特許出願動向等を調査して技術トレンドをつかみ、日本の研究開発の方向性を見定めるもの。
- 調査結果は報告書としてまとめられ、迅速・的確な審査の基礎資料として、また、企業・大学・研究機関等が研究開発戦略等を策定するための基礎資料として活用される。



3. 調査手法

- 特許動向調査その他の公開情報調査を行い、有識者委員会からの助言等を踏まえつつ、日本の強み等を分析し、日本の企業・大学等が目指すべき研究開発の方向性を取りまとめる。
- 特許動向調査にあたって、調査会社の解析者が特許文献を1件ずつ読み込み、ノイズ排除・技術区分付与を行うことにより、精度の高い解析を行っている。

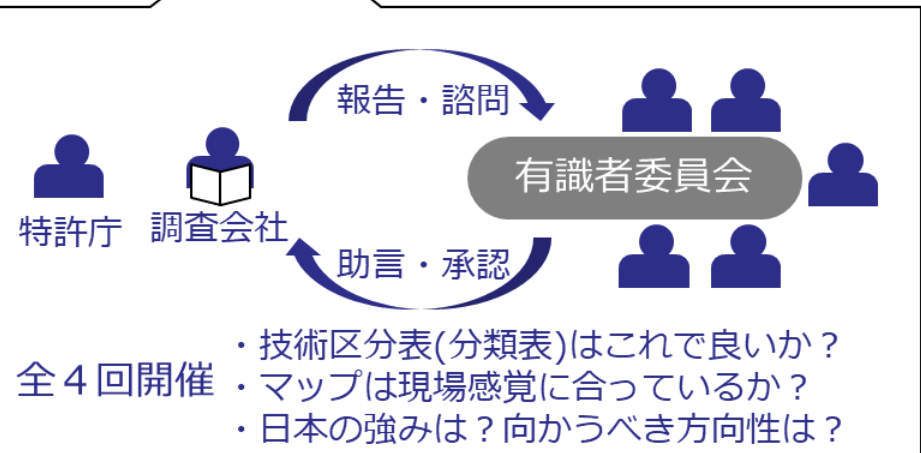
特許動向調査



他の公開情報調査

- ・市場環境調査 (市場調査レポート等をデスクリサーチ)
- ・政策動向調査 (各国政府のHP等をデスクリサーチ)
- ・研究開発動向調査 (論文を特許と同様な手法で調査)

日本の強み
開発の方向性



4. ニーズ即応型技術動向調査

- 社会的関心が高い技術分野について、特許庁内外のニーズに即応する形で特許出願動向を行っている。
- 特許文献の母集団も、そのうち技術区分（要素技術、応用産業等）ごとの特許文献の集合も、検索式（キーワード・IPC）を使用して抽出し、集計する（検索式で対象を絞れない場合は1500件～2000件の読み込みを行う。）。

